CK		347000		
CK		担当部署		
CK		生化		
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項		特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*1.頻用→		
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→生化学→		
	3	電子カルテ→指示①→検査→*3.緊急→		
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		特記事項なし		
検査受付時間		緊急対応(24 時間)		
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		<p>一般的に若いほど高い傾向にある。</p> <p>新生児は高く出生後 24 時間にピークがある。血清 CK の正常値は性差があり対数で示すとそれぞれ正規分布を示す。</p> <p>筋肉内注射(特に溶剤が強酸性または高浸透圧性の場合)、激しい運動、慣れていない運動、小児では採血時の大泣き・大騒ぎ、手術、筋生検、心注射、カウンターショック、心臓手術、頭部打撲、脳外科手術では血清 CK を軽度高値を示させる要因である。</p> <p>日本臨床第 7 版 368,2009</p>		
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1 全血	10 青	分離剤	8	mL
2 -	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-
検体搬送条件		室温		
検体受入不可基準		<p>1)採取容器違いの検体</p> <p>2)バーコードラベルの貼られていない検体</p>		

	3)固形物 4)粘性のある検体					
保管検体の保存期間	冷蔵・2週間(追加検査については、検査室に要問合せ)					
検査結果・報告						
検査室の所在地	病院棟 3 階 中央検査部					
測定時間	当日中～翌日					
生物学的基準範囲	M:59-248U/L F:41-153U/L 日本臨床検査標準化協議会 共用基準範囲					
臨床判断値	設定なし					
基準値					単位	U/L
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
設定なし	設定なし	59	248	41	153	
パニック値	高値	5000U/L (新規の外来患者)				
	低値	設定なし				
生理的変動要因	特記事項なし					
臨床的意義	<p>血清クレアチンキナーゼ(CK)は骨格筋、心筋、脳、平滑筋などの障害を起こしている可能性のある場合に、その状態・疾患の診断、治療効果の判定、病態の研究の為に、血清その他の体液で CK やそのアイソザイムを分画し、測定する。</p> <p>冠動脈治療後の予後判定にも用いられる。手術に因る筋障害判定やスポーツのトレーニング負荷にも利用される。</p> <p>日本臨床第 7 版 367,2009</p> <p>CK は骨格筋に多く存在し、脳、心筋及び平滑筋等に分布し、エネルギー代謝上重要な役割を果たしている。</p> <p>血中では進行性筋ジストロフィー症、多発性筋炎、急性心筋梗塞、甲状腺機能低下症において高値を示し、甲状腺機能亢進症で異常低値を示す。</p> <p>シグナスオート CK 試薬添付文書</p>					